

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 単位1 (低学年)		公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	学習スペースと活動スペースを区切っている活動内容を工夫したりして、発達障害の子ども達が爆発しない様考えて行なっている。パーテーションを使用し、集中しやすい環境設定を行なっている	環境の工夫を最大限にしながら検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	配置されている人数で療育が遂行できている。要となる職員が育ってきてはいるが、基本的にギリギリの人数なので全体の絶対数が不足している。	次年度も職員の育成に力をいれていきたいと思えます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	事業所から与えられた空間の中で一生懸命考えられた空間、安全を考えた空間になっているが、もともとは建物が特性を考えた造りではない	ととのキッズの建物は、新築で放デイを立ち上げました。その時々利用児の状況で部屋の環境設定が必要になります。利用児が安全で過ごしやすい環境に努めて参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	静かに過ごし学習できる空間と、自由に過ごせる空間を分けている。掃除の徹底、及び、子ども達の棚などわかりやすくなっている。	引き続き、清掃、過ごしやすい環境の工夫を行ってまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	クールダウンできる空間を確保している。小部屋を個別療育や落ち着く部屋として使うことが出来ている。	個別療育室を新たに新設しました。個室で落ち着いた環境で療育を行ったり、クールダウンとして使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価した後に職員間で振り返りをしている。保護者の意見は貴重だと感じる。	保護者向け評価表のみならず、行事等の後はアンケートを実施し、保護者のご意見、ご要望に沿った保護者支援や業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6			第三者委員は検討中です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的を実施している。定期的に研修が行われている。	年間研修計画を立て実行しております。次年度も同様実施していきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	公表は3月に予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメントシートを使い、細かいニーズを聞き取りしている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	その子どもに合った支援内容が設定されていると思う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動リーダーを主にみんなで意見を出し合っている。職員間で意見を出し合うようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	継続的に実施した方が良いものとそうでないものを区別して取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝朝礼をして前日の振り返り、当日の確認をしている。 活動の時間やチーム分けを話し合いながら決定し、それに合わせた加配にしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援終了後は時間が遅いので、翌朝している。 重要事項は当日中、それ以外は翌日の朝礼で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	できるだけ自発性を促している。 子どもが自分で考え判断、選択できるような声掛けを意識している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	下校時間は、学校によっては保護者に聞いて下さいと言われることもある。 必要に応じて情報共有を行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	放デイから障害福祉サービスへ移行する年齢の児童がいないため	放デイ単位1は小学校1年～3年生が在籍しているため卒業等がない。放デイ単位2に移行する場合は丁寧な送迎を実施している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	法人内学童がなくなったことで交流の機会は減ったが、全くないわけではない。	公園・外出活動等で地域の同学年のこどもと交流を図っております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	お迎え時や連絡帳（コメント）などで、保護者と話すことが出来ている。	引き続き、共通理解に努めてまいります。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者の要望と子どもの意思の両方に耳を傾け、作成されていると思う。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて、相談の時間や場を設けることが出来ていると思う。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月キッズ便り、HUG、Facebookで発信 HUGやキッズだよりが活用されている。	今年度よりICTを導入し、発信に努めております。毎月キッズだよりを作成し保護者に配布してしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	写真を掲載する際は、数人でチェックを行っている。	個人情報の同意書を保護者よりいただき、不備がないようダブルチェックに努めております。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	11月に行われたお祭りは地域の方も来られていた地域の方と一緒に合同避難訓練を実施した。 コロナ以降、少なくなっている。	今年度は、もちつき、おたのしみ会、避難訓練も地域住民も参加型の行事となりました。来年度も引き続き計画してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的に学習・訓練を実施している。	次年度も、研修、マニュアル遵守、訓練等の周知・実施に努めてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	確認する事もあるが、予防接種など全て聞き取りはしていない。	新規契約時に生活記録を保護者の方に記入していただき、服薬状況、予防接種、てんかんなどの情報をいただいております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎朝、朝礼で共有し振り返りを行なっている。 対策についても話し合っている。朝礼で前日の分を共有し、周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			